

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会福祉入門（Introduction to Social Welfare）		
ナンバリングコード	E10104	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 基礎レベル 専門基礎
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 後期
必修・選択区分	必修：経営経済学部 コース選択必修：情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E022853	クラス名	-
担当教員名	河村 裕次		
履修上の注意、 履修条件	卒業条件に必要な科目になりますので、必ず履修を行ってください。 見ること、聞くこと、真剣に考えること、そして、自分の意見を持つことを心がけてください。		
教科書	特になし		
参考文献及び指定図書	講義中に適時紹介します。		
関連科目	社会福祉原論、高齢者福祉論、障害者福祉論、児童福祉論、公的扶助論、社会保障論など		

○基本情報		
授業の目的	急速に進行する少子高齢化により福祉を取り巻く環境も大きく変化するとともに福祉に対する関心やニーズも増大し、かつ多様化しています。社会福祉の対象が普遍化し、今日ではすべての人を対象に、その人らしい生活を送ることをめざしています。社会福祉の全体像を理解し、福祉活動への参加のきっかけになることを期待しています。	
授業の概要	社会福祉の基本的な視点・価値、歴史的背景、各論の概要などについて理解を深めていきます。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当なし	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	・社会福祉の全体像を理解している ・社会福祉が自分の身近な生活に関連していることを理解し、福祉課題を自分たちのこととして関心を持つことができる	20%	40%	
【ディプロマ・ポリシー②】	・様々なデータから社会福祉の諸分野の現状と課題について考察することができる ・講義内容を踏まえ、自分自身の考える社会福祉について説明することができる	20%	20%	
【ディプロマ・ポリシー③】				

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPIに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
[Sレベル]到達目標を満たしている。 [Aレベル]到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]到達目標を一部満たしている。 ・レポートは、授業時に指示される注意事項に従って締切日まで提出してください。すべて提出した場合は、評価の対象とします。 ・授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。 ・配布資料の概説や実習問題などを通して、授業内容や課題のフィードバックができるようにします。

○その他
講義内容については、進行状況等により変更する場合があります。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	社会福祉入門（Introduction to Social Welfare） 河村 裕次	授業コード	E022853
学修内容				
1. オリエンテーション・福祉とは 本講義の目的や到達目標について説明します。 福祉とはどのようなものなのかまず自分自身の抱いているイメージについて考えていきます。 また、受講学生がもつ「福祉」イメージについてアンケート調査を予定しておりますので、その概要について説明をします。				
予習	福祉についての自分のイメージおよび具体的な例について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
2. 私たちの生活と社会福祉 私たちの生活は歴史の中で大きく変化しています。日本人の生活も高度経済成長の過程で大きく変質し、核家族化の進行、少子高齢社会の到来によって、福祉は普遍化しすべての人々の生活課題となっています。私たちの生活と社会福祉との関連について学習します。				
予習	少子高齢化社会の現状について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
3. 社会福祉の考え方 社会福祉は人間の社会生活上に発生する困難や障壁を軽減緩和し、その人らしい生活をおくることができることをめざすさまざまな活動の総体といわれています。社会福祉の言葉の由来と変化、社会福祉の基本的理念と定義について学習します。				
予習	日本国憲法第25条の意義・目的および特徴について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
4. 社会福祉の活動領域について(外部講師による講義) 社会福祉の領域、社会福祉士の活動領域について外部講師(大分県社会福祉士会)による具体的な事例を通して学習します。				
予習	社会福祉の領域および社会福祉士の活動領域について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
5. 社会福祉の分野(障がい者福祉) 社会福祉の領域のうち、障害者の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。				
予習	日本における障害の種類および障害者数等の現状について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
6. 社会福祉の分野(児童家庭福祉) 社会福祉の領域のうち、児童の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。				
予習	児童虐待の種類および現状について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
7. 社会福祉の分野(子育て支援) 社会福祉の領域のうち、子育て支援制度について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。				
予習	1.57ショック以降における少子化対策及び子育て支援制度について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間
8. 社会福祉の分野(DV) 社会福祉の領域のうち、DV(ドメスティックバイオレンス)について、その概要と特徴、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。				
予習	DVの種類および現状について事前学習			約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	社会福祉入門（Introduction to Social Welfare） 河村 裕次	授業コード	E022853
学修内容					
9. 社会福祉の分野(高齢者福祉①) 社会福祉の領域のうち、高齢者の福祉についてその理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。					
予習	高齢化率の推移および介護保険制度の概要について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
10. 社会福祉の分野(高齢者福祉② 外部講師による講義) 9週目で学んだ高齢者福祉のなかで、今後増加していくことが予想されている認知症について理解し、認知症の人々やその人を取り巻く家族の支援について学習します。(認知症サポーター養成講座を兼ねる)					
予習	認知症の種類および特徴について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
11. 社会福祉の分野(公的扶助) 社会福祉の領域のうち、低所得層の福祉について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。					
予習	生活保護受給者・世帯の推移および生活保護制度について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
12. 社会福祉の分野(更生保護) 社会福祉の領域のうち、更生保護制度について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。					
予習	更生保護制度の概要について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
13. 社会福祉の分野(保健医療) 社会福祉の領域のうち、保健医療制度について、その理念、歴史、現行の施策のあり方等について具体的な事例を取りあげながら学習します。					
予習	医療保険制度の種類および概要について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
14. 社会福祉の実施体制 社会福祉施設は社会福祉事業を行う重要な拠点です。施設はそれぞれの関係法に基づいて設置されているが、社会福祉施設の種類と体系、現状と課題等について学習します。					
予習	社会福祉法第2条における社会福祉事業の種類および目的について事前学習				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
15. 確認問題解説と振り返り これまでの講義内容を踏まえた確認問題の実施および解説を行い、自分の生活と福祉の関係について振り返りを行います。 また、受講学生がもつ「福祉」イメージについてアンケート調査を予定しておりますので、その概要について説明をします。					
予習	確認問題の実施および解説の作成				約2時間
復習	講義内容に基づき、確認テストを受験				約2時間
16. 期末試験 60分の試験を実施します。 ※出題方法等に変更場合があります。期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。					
予習					
復習					